

第九たいむず



No.32 2009. 1.15

通刊823担当 M

- スロヴェニアはイタリアとオーストリアとハンガリーとクロアチアに囲まれた国です。

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052 (事務局長小野里)

♪ 新年会2009!

【テノール 太田】

皆様、お正月はいかがでしたか。たくさん食べて、たくさん飲んで、楽しい時間を過ごされたのではないのでしょうか。そして、たくさん食べて飲んで余ってしまった食材を第九の皆様と分かち合うと・・・♪。ということで、例年に漏れず今年もたくさんの食べ物・飲み物であふれた豪華な新年会でした。手作りのものを差し入れて下さった方も多く、皆様でおいしく堪能させていただきました。ありがとうございました。

今年の年初め飛び入り演奏(仮名(笑))はテノールの外処さん。ギターにて「Believe」の弾き語りを♪ 赤羽先生の合唱団 JOY で同じ曲を歌ったメンバーも多かったせいか、思いもよらずハモリのある全体合唱となりました。次の飛び入り演奏の機会はいつか!? 乞うご期待。

で、さらに例年に漏れず第九の歌い初めもあり♪ ソロも含めて団内でこれができるという、まさに高崎第九だけの特権です☆ 年初めから先生方の豪華な美声を聴けたこと、ヨーロッパでリフレッシュしてきたという赤羽先生の気合の入った指揮で皆様バシッと歌い切ったこと、まさに年初めにふさわしい! 今年はメイコンサート、スロヴェニア海外公演、第36回第九演奏会と、3つも演奏会があります! それに向けての良いスタートダッシュが切れたのではないのでしょうか。

※ 追記: 第九の指揮をしていた赤羽先生、何やら考えながら振っていた感じ? 今年のしごきどころを探っていたのでしょうか・・・(笑)。ヨーロッパで第九を聴いてきた成果が早くも?



♪ メイコンサートの楽譜(2冊)を販売します

・日本の歌 100円(海外公演練習にも使います) ・オペラ「雪娘」300円(グリチン・イリヤ和訳)

♪ 2009年5月24日メイコンサート(来週より練習)

1ステージ: 日本の唄

2ステージ: 大山亜紀子さん(ソプラノ)によるステージ(高崎市出身・第74回日本音楽コンクール2位)

3ステージ: オペラ「雪娘」(リムスキー・コルサコフ作曲) (日本語初公演!!)

♪ 第6回海外公演発声式1月18日(日)音楽センター会議室(受付に申込書有)

2009年10月23日~31日(9日間) 公演先: スロヴェニア(10月28日演奏会)

発声式: 2009年1月18日(日)音楽センター会議室13:30より 以後、月一度の練習。

2月はシンフォニーホール(音楽センター裏、市役所の斜め前)

3月~5月は高崎市中央公民館

* 筆記用具、第九の楽譜、日本の歌の楽譜、旅行申込書、申込金 をお持ちください。

(申込書はなるべく記入の上、お持ちいただきますようお願いいたします。)

♪ 今後の予定←各楽譜の中に練習日程表が入っていますのでご覧ください

♪ 今年の演奏会ポスターを持って行ってください!

カレンダーに変身、裏紙に使用と、ぜひ再利用してください! そのまま貼ってもOK!

♪ やかんにお湯を沸かしておきますので休み時間にお茶をどうぞ! マイカップ持参してください。

♪コンサート情報・行事情報

☆高崎・安中地域フェスティバル ←ご覧になってからでも海外公演の練習は間に合いそう

2009年1月18日(日) 高崎市文化会館 10:00開演 入場無料

* 三曲合奏研究グループでは **バス大里さんが尺八**でご出演

* 高崎観和会(観世流)では **バス安達さんが連吟で「高砂」**を謡います。

お二人とも
紋付袴でご出演♪

☆合唱団葡萄 第7回演奏会 ←チケットはテノール太田まで

2009年2月11日(水・祝) 前橋市文化会館 小ホール 13:30開場、14:00開演 全席自由1000円

指揮:八木淳一 →イギリスの音楽(ルネッサンス期の宗教音楽、マドリガル、民謡他)

片山みゆき→近代日本名歌抄(委嘱初演、編曲:信長貴富、ゴンドラの唄・カチューシャの唄他)他

①合唱のスタンダード的なイギリスの曲、②皆様にも親しみある大正・昭和時代の日本の名曲を信長貴富さん編曲で、③そして演出付きのシアターピースと、大きく毛色の異なるステージ構成です。

☆オペラの幻影～歌劇の大作曲家による室内楽の夕べ～ ←チケットはユリヤまで

2009年3月11日(水) 前橋テルサ 18:30開場 19:00開演 全席自由 一般1500円 学生800円

出演:ユリヤ・レヴ、レオニード・グリチン他群響首席奏者

♪今年もNHKニューイヤーオペラコンサートに行ってきました 【ソプラノ 小林薫子】

毎年、1月3日にNHKホールで行われる恒例のNHKニューイヤーオペラコンサートですが、今年は52回目で、今回のコンサートのテーマは幻想と熱情の名場面、名アリアでした。出演者は、臼木あいさん、大村博美さん、幸田浩子さん、佐々木典子さん、高橋薫子さん、安井陽子さん、横山恵子さん(以上ソプラノ)、小山由美さん、林美智子さん(以上メゾソプラノ)、佐野成宏さん、高野二郎さん、成田勝美さん、樋口達哉さん、福井敬さん(以上テノール)、小森輝彦さん、直野資さん、堀内康雄さん(以上バリトン)、佐藤泰弘さん(以上バス)と豪華な顔ぶれとなりました。ゲストは山中千尋さん(ピアノ)、アメリカ生まれのデナ・ハンチャードさん(ボーカル)でした。

まず、第1部は幻想オペラがテーマで、ワーグナー作曲の歌劇「タンホイザー」から大行進曲「歌の殿堂をたたえよう」(ソリスト全員と合唱による演奏)、モーツァルト作曲の歌劇「魔笛」から「なんと美しい絵姿」(タミーノのアリア)、「復讐の心は地獄のように胸に燃え」(夜の女王のアリア)、オッフェンバック作曲の歌劇「ホフマン物語」から、「昔アイゼナハのお屋敷に」(ホフマンのアリア)、「森の小鳥はあこがれを歌う」(オリンピアのアリア)などが演奏されました、ホフマン物語の2曲はバレエや合唱も交えての演奏となり、豪華な舞台に感じられました。

第2部はクラシックを離れ、ゲスト2人によるジャズの演奏で、ここではガーシュインの「サマータイム」、「レディー・ビー・グッド」などが演奏されましたが、ジャズはクラシックとは違った難しさがあるように感じました。そして第3部は、熱情をテーマにしたオペラで、ビゼー作曲の歌劇「カルメン」から「ハバナラ」、「闘牛士の歌」、プッチーニ作曲の歌劇「ジャンニ・スキッキ」から「私のお父さん」、歌劇「トスカ」から「星はきらめき」、歌劇「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」などが演奏されました。そして、最後を飾ったのはソリスト全員と合唱で、去年のメイコンサートで私たちが演奏した、ヴェルディ作曲の歌劇「椿姫」から乾杯の歌「友よ、さあ飲みあかそう」でした。この曲を聴いていると、メイコンサートの時のことを思い出し、懐かしく感じたり、この一年が幸せでありますようにと言った気持ちが込められているように思えました。

このコンサートの指揮者は飯森範親さん、管弦楽は東京フィルハーモニー交響楽団、合唱は、二期会合唱団、藤原歌劇団合唱部、新国立劇場合唱団、バレエはスターダンサーズ・バレエ団、司会は中條誠子さんでした、終演後はソリストの方々やゲスト出演者、司会者の方からサインをいただいたり、一緒に写真を撮ったり、お話することができて本当に嬉しかったです。

♪「雪娘」あらすじ 第一幕① (次回は第一幕続き)

(http://homepage3.nifty.com/classic-air/database/korsakov/snegurochka_syp.html より拝借)

ベレンディの都の郊外:ポビルのあばらやとクーパヴァの邸宅

ポビルのもとにレールがやって来て、いつも羊飼いに優しくしてくれるお礼に笛を吹きましょうと言うので、ポビルはそれならば雪娘にも聴かせてやって欲しいと言う。雪娘はレールに歌ってくれるお礼に何が欲しいの?と聞く。レールは、ではキスをしてくれと言うが、雪娘はキスなんて挨拶と同じだから面白くないわと言う。レールはそれならば花をくれと言うので、雪娘は近くの野花を一輪摘んでレールに渡す。

レールは『茂みの下に育つ苺』を歌う。その時、若い娘達が現れてレールの手を引いて行こうとする。雪娘は彼を引きとめようとするが、レールは楽しげに行ってしまう。雪娘は『なんと惨めな私、なんて心が痛むのでしょ』を歌い嘆き悲しむ。クーパヴァが現われて、雪娘に対して、貴方は子供過ぎるからレールが行ってしまうのよと言って、自分は赤の丘で裕福な商人のミスギールに求婚されたと言って幸せそうに語る。

そこにミスギールがやって来る。クーパヴァはレールと共に戻って来た娘達の中に隠れる。ミスギールがクーパヴァはどこ?と聞くと、娘達はお土産が無ければ教えてあげないと言うので、彼は皆にお菓子を渡す。クーパヴァが姿を現すと今度は、何処からか男達が現れて彼女を取り巻いてしまうので、ミスギールは今度は彼らの帽子にお金を入れてやる。やっと開放されたクーパヴァとミスギールは皆から少しはなれたベンチで愛を語らうが、直ぐに女友達と共に野原に踊りに行こうとする。(次週に続きます)